

各関係機関長 様

熊本県病害虫防除所長

コナガの発生状況と防除対策（技術情報第2号）について（送付）
このことについて、キャベツなどアブラナ科野菜で被害が問題となるコナガの発生状況を、下記のとおり取りまとめましたので、防除指導の参考資料としてご活用下さい。

記

1 コナガの発生状況

- (1) 5月中・下旬に行った高冷地のキャベツ調査では、寄生株率 14.0 %（平成4.2%）と平年よりやや多い発生であった。
- (2) 波野村と清和村のフェロモントラップによる誘殺数は5月2半旬から増加し、3～4半旬は過去2年の誘殺数より多くなっている（図1、2）。
- (3) 5月28日福岡管区気象台発表の1ヶ月予報によると、6月の気温は平年より高く、降水量は平年並か多い予想である。
コナガの卵から成虫までの発育日数は20℃で約23日、25℃で約16日と温度が高いほど短くなる。このため、今後気温が高いと、発生世代数が増加し発生量が多くなることが予想される。

2 防除上注意すべき事項

薬剤防除

- (1) 定植前または定植時処理剤を施用し、初期防除を徹底する。
- (2) 老齢幼虫や蛹になると薬剤の殺虫効果が低下する。早期発見に努め、若齢幼虫期の防除を徹底する。
- (3) 幼虫は葉裏に生息するので、葉の裏まで薬液がかかるように丁寧に散布する。
- (4) 同一系統及び同一薬剤を連用すると薬剤抵抗性が発達する恐れがあるため、系統を替えてのローテーション使用を行う。
- (5) 農薬の使用にあたっては、必ず農薬ごとに定められた使用基準を守る。

耕種的防除

- (1) ナズナやタネツケバナなどアブラナ科雑草は、コナガが寄生し発生源や増殖源となるので、ほ場周辺のこれらの雑草は除去する。

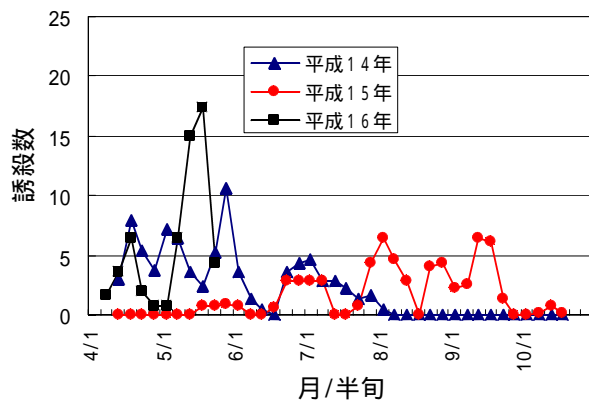


図1 誘殺数の推移（波野村）

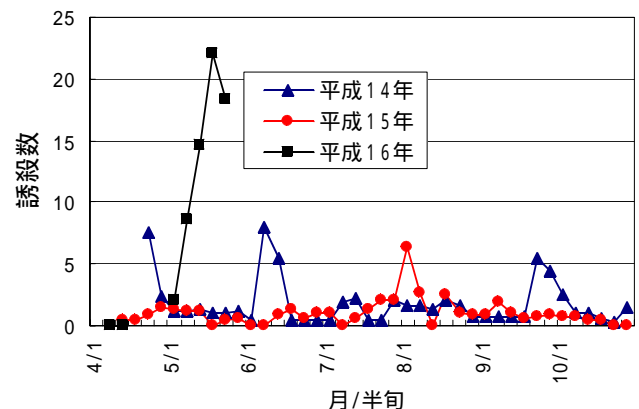


図2 誘殺数の推移（清和村）

フェロモントラップデータは病害虫防除所のホームページに掲載していますので参照ください。

熊本県病害虫防除所ホームページアドレス

<http://www.jppn.ne.jp/kumamoto/>

熊本県農業研究センター
生産環境研究所病害虫研究室
予察指導係（病害虫防除所）

担当：古賀、前田

電話：096(248)6490